

「和歌山県建設新技術開発支援」の決定について

県内建設企業等の競争力を強化し、公共工事の品質向上、地域経済の活性化に寄与することを目的に、建設工事に関連する新技術開発を募集しました。

申請された新技術開発について、選定委員会の審査を経て、4件の支援候補を決定し、今回、2件の新技術開発に対し支援を実施します。

【支援実施の決定】

1 実験フィールド提供支援^{※1}

名称：法面勾配指示器
企業名：(株)アスカ技建（紀の川市）
場所：海草郡紀美野町樋下（国道370号道路改良工事）
内容：盛土法面整形工事で実験
時期：平成23年3月上旬～3月下旬

2 効果検証費用支援^{※2}

名称：紀州産間伐材を利用した建築物の基礎地盤補強工
企業名：(株)オオニシ（和歌山市）
内容：木材の強度試験や分析を実施
時期：平成23年2月中旬～3月下旬

【支援候補】

次の新技術開発については、条件が整い次第、支援を行う予定です。

- ・間伐材二重井桁枠工 (有)クスベ産業（有田川町）
- ・コケ吹付け緑化工法 (株)丸山組、(株)尾花組（田辺市）

＜参考＞支援内容について

- ※1 県の施設等で実験に適した場所がある場合、必要最小限の範囲内で試行的に工事を実施する場所を提供します。
- ※2 技術基準等への適合性など、その活用効果の検証を行うため、試験、調査、分析等の費用の一部を補助します。

支援が決定された新技術開発の概要

法面勾配指示器

○機械法面仕上りで、運転者が常に勾配を目視できる技術

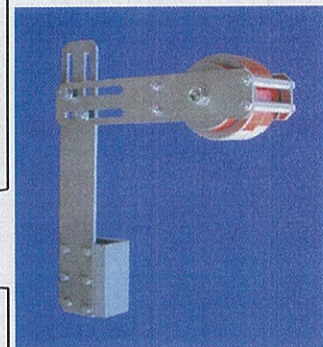
装着状況



機械(盛土)法面仕上り



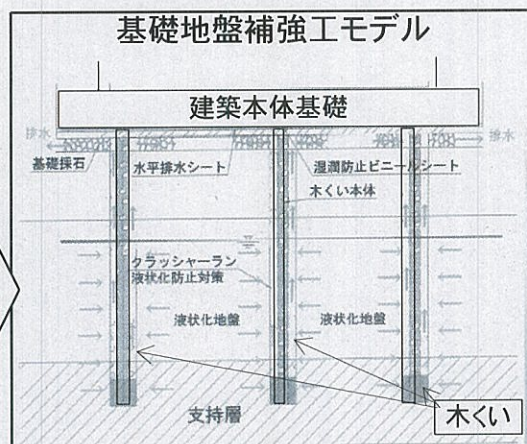
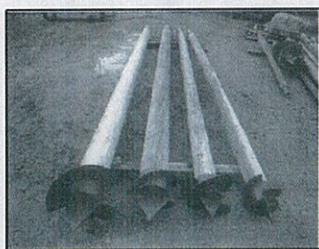
法面勾配指示器



(株)アスカ技建 (紀の川市)

「紀州産間伐材」を利用した 建築物の基礎地盤補強工

○「紀州産間伐材」を地中に打設し、地盤の補強を行う技術



(株)オオニシ (和歌山市)

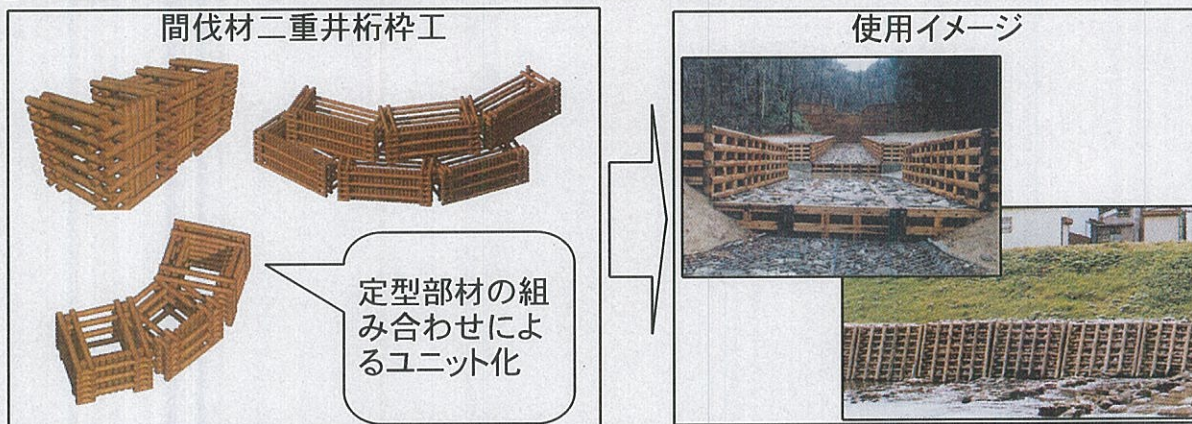
法面勾配指示器の実験フィールドの概要



(参考) 支援候補

間伐材二重井桁枠工

- 環境に配慮し、間伐材を土留や低水護岸などに活用する技術
- 二重に組み合わせることで、現地の曲線区間にも対応が可能



(有)クスベ産業 (有田川町)

コケ吹付け緑化工法

- 既存のモルタル吹付法面などにコケを定着させ、緑化する技術



(株)丸山組、(株)尾花組 (田辺市)